安中市
Annaka City

ANNAKA CITY

台湾トップセールス
安中市の魅力を世界へ

2市1町観光連携協議会における台湾トップセールスの成果について

問い合わせ
みりょく創出部　観光課　観光振興係
TEL027-382-1111(内線2626)

安中市
Annaka City

ANNAKA CITY

台湾トップセールス：安中市の魅力を世界へ

安中市は、富岡市・軽井沢町と連携し、台湾でのトップセールスを敢行。
「三城慢旅（3都市でのスロートラベル）」を共通テーマに掲げ、市長自らが陣頭指揮を執り、現地の旅行業界や一般客に向けた熱気あふれるプロモーション活動を展開しました。



訪問期間・体制

令和8年11月4日～10日
（2市1町首長・観光トップが参加）

安中市
Annaka City

ANNAKA CITY

熱気に包まれるITF（台湾国際旅行博）

過去最大規模の来場者を見込むITFジャパンパビリオンに出展。
オープニングセレモニーへ参加後、共同ブースにて直接観光客と交流。用意した「三城慢旅」パンフレットやSNS登録キャンペーン（協議会グッズ進呈）は現地で大盛況となりました。





活動のハイライト
SNS登録者多数獲得、直接の対話による高い認知度向上

旅行最大手・IT業界へのトップセールス

台湾最大手旅行会社「ライオントラベル」や、台湾ICT産業の中核「台北市コンピュータ協会」を訪問。
軽井沢～安中～富岡を巡る新しい観光ルートを直接提案し、富裕層向けツアーや企業インセンティブ旅行の誘致に向けた確かな手応えを得ました。

主なセールス先

ライオントラベル、可樂旅行社
台北市コンピュータ協会、日本台湾交流協会



安中市
Annaka City

ANNAKA CITY

苗栗県との交流とレールバイク視察

廃線跡を活用した大人気観光施設「旧山線レールバイク」を擁する苗栗県（みゃおりーけん）を公式訪問。旧碓氷峠鉄道施設など鉄道遺産を持つ安中市として知見を深めるとともに、苗栗県政府とのレセプションを通じて今後の相互観光交流の基盤を構築しました。

視察先	旧山線レールバイク等
交流先	苗栗県、公館郷、三義郷代表 苗栗県観光協会、レールバイク代表



安中市
Annaka City
ANNAKA CITY

台湾市場分析に基づく安中市のインバウンド誘客戦略

なぜ台湾なのか

①圧倒的リピーター（87.8%）
5回以上訪日が過半数。大都市から「地方部」へ訪問先がシフト。

②高い購買力
名目GDPは日本を上回り（約610万円）、1人当たり消費額は約18万円強と高水準。

③通年の安定性
特定季節に偏らず、年間を通じて安定した訪日規模を維持。

※2026年上半期までの最新動向

本市のポテンシャル

①独自性の高い歴史・文化資源
国指定重要文化財「碓氷第三橋梁」、アプトの道、碓氷峠鉄道文化むら、温泉記号発祥の地「磯部温泉」

②抜群の立地優位性
台湾で知名度が極めて高い「軽井沢」に隣接。首都圏～軽井沢のゲートウェイとして機能。

重点戦略

①「軽井沢ゲートウェイ」促進
軽井沢滞在客に対し、峠を越えた本市への立ち寄り・宿泊ルートを提示。

② 旅行会社連携による団体ツアー造成
現地旅行会社・現地ツアーガイド向けモニターツアーの実施。

③ 情報発信・受入環境整備
繁体字による観光案内、キャッシュレス決済、二次交通案内の強化。

今後のインバウンド施策と展開



広域周遊ルートの構築

軽井沢の知名度を活かした
安中・富岡周遊ルート設定



継続的な関係構築

今回のトップセールスを起点とした
継続的なインバウンド取組